

第4学年1組 理科学習指導案

指導者 田中 信彦

1 単元名 季節と生き物（春）

2 単元について

児童は、これまで生活科や第3学年の「植物をそだてよう(1)」から「植物をそだてよう(4)」までの単元で、身近な植物を探したり、育てたりして、その成長の様子を学習してきた。生活科では、アサガオやミニトマトやサツマイモなどを育てた。第3学年では、ヒマワリやホウセンカの2種類の植物を中心教材として取り上げ、種まきから枯れるまでの一生を継続して比較しながら観察し、植物が育つ順序や植物の体のつくりについて調べるとともに、ヒマワリやホウセンカのほかに、オクラ、パンジーなども一緒に栽培し、相違点や共通点を比べながら学習してきた。また、モンシロチョウの卵を採集し、キャベツを与えながら成長の過程や体のつくりについて学習してきた。

本学年では、「季節と生き物（春）」から「季節と生き物（春のおとづれ）」の全単元で、1年を通じて気温と動物の活動や植物の成長のかかわりを調べていく。各季節での追究を通して、季節と動物や植物のようすを関係づけ、動物の活動や植物の成長が、環境と深くかかわっているという見方や考え方を養うようにする。

本単元では、まず、第3学年の学習を確認する意味でも、虫めがねなども使い、種のように芽の出方などをていねいに観察し、色や形等を記録するようにさせたい。それらの動物や植物が今後どのように変化していくか予想をもち、計画的・継続的に観察していくようにする。あわせて、自分たちでツルレイシを育て、その変化と季節の関係を追うことにする。また、「ぼくの木、わたしの木」を決め、季節ごとに観察をしていくことで、植物を愛護する態度を育てていきたい。

本校の理科の課題である「主体的に問題解決に取り組む子の育成」は体験的な活動を繰り返し行い、問題解決的な学習を積み重ねていくことで学習の仕方が身に付いていき主体的に学習に取り組むことができる考える。

本単元の学習は、第5学年の「生命のつながり（1）」から「生命のつながり（5）」の学習へとつながる。

3 単元の目標

季節ごとの動物の活動や植物の成長に興味・関心をもって追究する活動を通して、動物の活動や植物の成長を季節と関係づける能力を育てるとともに、それらについての理解を図り、生物を愛護する態度を育て、動物の活動や植物の成長と環境とのかかわりについての見方や考え方をもち、することができるようにする。

4 指導計画（8時間扱い）

	学習活動と内容	時配
第一次	・冬に比べて生き物のようすがどのように変わってきたか考える。 ・1年間の観察を続けるために、計画を立てよう。	2時間
第二次	・身近な動物のようすを観察しよう。	2時間
第三次	・ツルレイシのたねの観察とたねまきをしよう。 ・調べることに決めた植物（サクラや「ぼくの木」）のようすを観察しよう。 ・その後のツルレイシの育ち方を観察しよう。 ・ツルレイシの植えかえよう。	4時間 (本時 4/4)

5 本時の指導（8／8）

(1) 目標

○育ててきたツルレイシを学年園に植えつけた後、サルビア、マリーゴールドなどの植物をポットからプランターや鉢に植えかえ、理科学習や学校園活動に役立てることができる。

(2) 評価規準

○ツルレイシなどの育ち方を調べ、その植物に合わせた方法を見出し、適切な世話をしている。
(観察・実験の技能)

(3) 展開

学習活動と内容	教師の支援および評価 (★)	資料・教具
<p>1 本時の活動を確認する。</p>	<p>○理科学習で育ててきた植物の成長のようすを確認し、学年園や一鉢栽培の鉢に植えつけ、開花の楽しみを持たせることで本時の意欲化を図る。</p>	<p>育ててきた苗（ツルレイシ、サルビア、マリーゴールドなど）</p>
<p>今まで種から育ててきた植物を学年園や鉢に植えつけよう。</p>		
<p>2 学年園の整備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雑草取り ・ 肥料、腐葉土入れと土の耕し ・ うね作り 	<p>○作業の手順を説明し、道具の安全な使い方を助言する。</p> <p>○耕す中でよく空気を混ぜ、土を柔らかくすることを説明する。</p>	<p>移植ごて くわ、シャベル、肥料、腐葉土</p>
<p>※定植のおよそ2週間前に苦土石灰をまき中和させておく。</p>		
<p>3 ツルレイシを植えつける。</p>	<p>○ビニルポットで育てた苗は底に根がはっているので、余分な根を優しくほぐしてあげることを助言する。</p> <p>○ビニルポットで育てた本葉2～4枚になった苗が移植の適期なので、植える間隔を50～80cm程度にするように助言する。</p>	
<p>4 サルビア、マリーゴールドなどを一鉢栽培の鉢に植えつける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サルビア、マリーゴールド、コスモス・・・一鉢に2株ほど ・ 水やり 	<p>○根元の土をしっかりと押さえてあるか確認する。</p> <p>★根の処理や植物同士の間隔に気を付けて、植えかえることができたか。</p>	
<p>5 本時の活動を振り返る。</p>	<p>○上手にできたことを賞賛し、つるが伸び葉が茂る、暑さをしのげる緑のカーテンになること、花が咲き、実の収穫できることへの期待感をもたせる。</p>	
<p>6 後片づけをする。</p>	<p>○後片づけや汚れた場所は、ほうきで掃除させる。</p>	<p>ほうき、ちりとり</p>